地域に広がる学びの場 杏林大学　２０１９.11 Vol.５６

地域交流活動かわら版

1年生必修科目「地域と大学」4学部全プログラムが終了しました

医学部「地域体験学習 報告会」をもって、今年度の1年生必修科目「地域と大学」の全プログラムが終了しました。この科目を通じて、学生たちは、地域における大学の役割、地域を取り巻く課題について、解決を目的とした手法の習得を目指してきました。中心となるテーマは、「生きがい創出」「健康寿命延伸」「災害に備えるまちづくり」。連携を結ぶ自治体などから講師を招聘し、講義が行われたほか、4学部約1,400名が混成チームに分かれてグループワークを実施。最後に、まとめの発表を行うという過程の中で、学生たちが「答えの用意されていない課題」に対して自主的に取り組んでいく様子が見られました。※各ふきだしの言葉は学生のアンケートから

各学部で学んでいることを、話し合いに生かすことができた

①講 義

地域が抱える問題をまず知ることが大切だと感じた

連携する三鷹市、八王子市、羽村市、岩手大学から講師を招き、それぞれの地域の現状や取り組みを学んだ上で、そこから新たな課題を提示。事前に、個人レポートをまとめることを通じて培った、学生一人ひとりの考えをもってグループワークへ挑みます。

今後の学生生活や、社会に出て役立つ視点が学べた

②グループワーク

様々な考え方を尊重しながらまとめていくことが難しかった

KJ法などの手法を活用しながら話し合い、グループの総意を模造紙にまとめます。大学に入ってすぐの授業、さらに初めて会った相手との作業は、スムーズにいくことばかりではありません。また、課題ごとにメンバーが変わります。試行錯誤を繰り返しながら、発表準備を進めていきました。

他学部と１つのテーマについて考え、意見を出し合い、発表することができた

③発 表

自分たちの提案を、他のグループの前で発表し、講師から評価を受けます。自分たちの考えがきちんと伝わるように、話し方も工夫しました。実際の地域課題に取り組む自治体の方からのお墨付きは、大きな自信につながりました。

自治体の方に発表を聞いていただき、意見をもらえたのがよかった

◆医学部 地域体験学習 報告会

職場体験の中学生が一部写真を撮ったり、構成案を考えてくれました！（詳細は裏面へ）

11月1日(金)三鷹キャンパス大学院講堂にて、医学部1年生の「地域体験学習 報告会」が行われました。

学生たちは、上記のような講義やグループワークで様々な学びを経験した後、少人数のグループに分かれ三鷹市内の福祉施設などにおいてフィールドワークを行いました。実習先では見学やヒアリングにとどまらず、実際に地域の方々と触れ合う中で、教室の中にいるだけでは知りえない「生きた学び」を経験することが出来ました。報告会では、そのような中で感じた見解や課題について発表が行われました。

三鷹市内の中学生による職場体験

10/30(水)から11/1(金)まで、**三鷹市立第三中学校2年生の生徒2名が職場体験に訪れました。**井の頭図書館や、キャリアサポートセンター、庶務課、国際交流課、地域交流課など、8つの部署をまわり、大学を支える仕事を体験する2名の姿は、真剣そのものでした。締めくくりの最終日には、本紙『かわら版』の作成業務として、医学部１年生「地域体験学習 報告会」にて掲載用写真の撮影や、記事のレイアウトについて考えました。(今月号表面をどうぞご覧ください)

生徒の感想より…

『大学といえば、教育の方が注目されるのですが、今回は、その教育を支えている事務の仕事を体験させていただきました。まず仕事がとても多くて、一回一回の仕事をしているとき、とても大変でした。ですが、大変な仕事を終わらせたときの達成感はとても大きかったです。この大変な事務の仕事があってこそ、大学のシステムが成り立っているということを学ぶことができたので、中学校の行事などを支えている仕事を引き受けたいです。』

『私は職場体験で、様々な職場を体験し、普段の中学生活で学ぶことのできない、社会に出て必要になる色々な事を学びました。教育と、事務の仕事が分かれているため、働く人は自分の仕事に専念でき、とても効率的だと思いました。初日はとても緊張しましたが、周囲の方々に優しくしていただき、だんだんと緊張も解けて、職場体験を楽しむことができました。』

令和元年度第2回杏林大学・三鷹連携協議会が実施されました

10月30日(水)三鷹市役所において、「令和元年度第2回杏林大学・三鷹市連携協議会」が行われました。

今回は、三鷹市から企画部調整担当部長・企画経営課長事務取扱、総務部危機管理担当部長、生活環境部調整担当部長、健康福祉部調整担当部長、スポーツと文化部調整担当部長が出席したほか、本学からは地域交流推進室長、同副室長をはじめ大学事務部長ら、合計15名が出席しました。

2020年はオリンピック・パラリンピックが開催されることから、三鷹市でも多くの関連事業が展開される予定です。**杏林大学では、医療・保健分野での支援に加え、総合大学としての特色を生かして、語学ボランティアやまちおこしといった側面からも支援を行っていくこととなっています。**今後も引き続き協力連携を強化し、その活動成果を発展的に継承していくことが出来るよう取り組んで参ります。

第3回みたか知り隊ウォーク

《三鷹の魅力を伝える企画》大好評で終了しました！

11月9日(土)に、三鷹を歩くウォーキングイベント「みたか知り隊ウォーク」を開催しました。このイベントは、本学「高齢社会における地域活性化コーディネーター養成プログラム」履修生と、学部生から構成されるメンバーで企画・運営したものです。

第3回にあたる今回は**“自然と歴史と秋の味覚を楽しむ”**をテーマとし、仙川・中原地区を、一般参加者含む約30名で歩きました。勝渕神社や天神山城跡では歴史的背景を手製のフリップを用いて解説したり、キウイ農園での収穫体験など、歩く以外の楽しみも充実。元気創造プラザで地産のものを使った昼食、柿農家さんや福祉作業所の方の講話、農業祭の見学など、盛りだくさんの企画は、最後に学生から参加者への“完歩賞”の授与で締めくくられ、参加者からは「秋の三鷹を堪能できた」と好評で終えることができました。

杏林大学
文部科学省 地(知)の拠点 地域交流課 髙田
〒181-8612 東京都三鷹市下連雀5-4-1 TEL 0422(47)8052・FAX 0422(47)8054 E-mail：area@ks.kyorin-u.ac.jp